

No.15 「新型コロナウイルス」

おはようございます。

校長先生の声、届いていますか？

実は、校長先生のおともだちが、少し前に新型コロナウイルスにかかりました。昔からの友だちで、昨年までよく一緒に遊んだり、ごはんと一緒に食べたりしました。

もちろん、最近では会うことができないので、ラインやz o o mで画面越しにおしゃべりを楽しんだりしていましたが、少し前に、「コロナになった。けど元気だから心配いらないよ。」とメールがきたのです。

正直びっくりしました。ついこのあいだまで、元気だったので、まさかそんなことになるなんて思ってもいなかつたのですが、。

大阪で新規感染者が500人や600人、東京では2000人を超える日などもあって、大変なことになっているなあという思いはありましたが、どこか遠いお話だと思っていました。

しかし、現実に身近な友だちが新型コロナに感染して、急に恐くもなりました。自分もいつなるかわからないぞと。今まで以上に手洗いうがいをしっかりとしないとという気持ちが強くなりました。

そして年末、12月27日国会議員の羽田雄一郎先生が、新型コロナウイルスにかかって、急死したというニュースが飛び込んできました。なんと、校長先生と同じ53歳です。高血圧高脂血症などの基礎疾患はあったものの、12月23日まで元気で政治活動をがんばっておられたのに、24日に発熱。25、26日は自宅待機で27日にPCR検査を受けようと病院に向かう途中に死亡。死後の検査で新型コロナウイルスにかかっていたことがわかったのでした。日本の政治をよくしていこうと頑張ってこられてきた国会議員だけに、夢なかばでお亡くなりになって、さぞや無念

のことと思います。

ちなみに、校長先生も高血圧高脂血症という同じ基礎疾患がありますので、健康には一層気をつけていこうと思いました。

なお、校長先生のお友だちは幸い命に別状はなく、今は元気に仕事に復帰してがんばっています。まだ直接会ってはいなくて、スマホで話したぐらいですが、元気になって本当によかったねと心から言いました。

今、新型コロナウイルスは本当に私たちの近くにあります。学校も、毎日消毒をしていますが、空気ののってウイルスは飛んできますので、本当に各自が気をつけないといけません。

そして万が一お友だちがなったとしても、決して差別したり「なになつとんねん！」と怒るのではなく、「大丈夫？」と心から心配してあげてほしいのです。

インフルエンザや風邪を引いたからといって、いじめる人はいないと思います。さらに好きで風邪を引いている人もいないのですから、当然風邪をひいたお友だちにはやさしく接しますよね。

同じように新型コロナになったからといって、特別に言うのは本当にやめてほしいのです。その人も好きで新型コロナになったわけではないのです。

そしてもし自分がコロナにかかったとき、お友だちにどうされたいですか？当たり前ですが、「大丈夫？」と優しく病気をいたわってほしいですね。自分がされてうれしいことは、ぜひお友だちにもしてあげてほしいのです。

小学生はほとんど重傷化しないとはいえ、高い熱が出たり、味がわからなくなるのは本当に大変なことです。繰り返し言いますが、手洗いうがい、消毒換気をしっかりとして、まずは自分がからないうように、そしてもし周りの人がかかったとしても、優しく接してあげられるよう、心からお願ひ申しあげます。